

平成31年
4月分の
費用から

若年がん患者などへの 新しい支援事業が始まります

現在、がん患者は増加しており、治療にあたっての負担も大きくなっています。中でも、若年がん患者からは今後の結婚や妊娠への対策や在宅療養生活への経済的支援が求められています。このため、市では新たに「若年がん患者等支援事業費助成事業」を開始し、対象者への支援を行います。これは、既存の保険・介護・補助制度でカバーできない部分を支援するものです。

問い合わせ 健康推進課 紅林 ☎0024

区分	がん患者妊孕性温存支援	がん患者医療用補整具購入支援	小児・若年がん患者在宅療養生活支援
対象年齢	40歳未満	全年齢	40歳未満
内容	将来子どもを持つための力の温存に要する経費の助成	ウィッグ、乳房補正具の購入に要する経費の助成	居宅サービスの利用などに要する経費の助成
対象経費	精子、卵子などの採取から凍結温存するまでの一連の医療行為などにかかる経費	ウィッグ（かつら）、乳房補正具（補正下着、人口乳房）の購入に係る経費	居宅サービス（訪問介護、訪問入浴介護）、福祉用具貸与・購入に係る経費
補助上限額（★）	[男性] 2万円 (1回のみ) [女性] 40万円 (1回のみ)	ウィッグ・補正下着 人口乳房 2万円 10万円 *ウィッグとそれ以外それぞれ 1回のみ	[0～19歳] 居宅サービス 5万円/月 [20～39歳] 居宅サービス 5万円/月 福祉用具貸与 3万円/月 福祉用具購入 5万円/1人 *うち、1割は申請者負担

★上限額を超えた金額は、申請者負担となります。

申請方法

【申請窓口】

健康推進課（さざんか2階）または相良保健センター

【提出書類】

申請書、領収書のほか、申請事業により必要な書類が異なります。書類は、申請窓口で入手できるほか、市のホームページでダウンロードすることもできます。

【対象経費】

平成31年4月1日以降に、上記についてかかった費用

【申請期限】

- ▶ 4月1日～12月31日までに購入または利用した費用＝その年度末まで
- ▶ 翌年1月1日から翌年3月31日までに購入または利用した費用＝購入日または利用日から90日以内
- ▶ 「小児・若年がん患者在宅療養支援」については、事前の手続きなどがあるため、お問い合わせください。

参加しませんか？

いきいき脳トレ学習塾

教室の内容

「いきいき脳トレ学習塾」では、サポーター（教室ボランティア）の協力のもとで行う「楽習」「座談」と、理学療法士の指導による「運動」の3つのプログラムで、脳全体の効果的なトレーニングを行います。

【楽習】

公文学習療法センターのテ

脳をいきいきと保つ生活のコツを知り、脳機能を維持改善することを目的とした「いきいき脳トレ学習塾」を、65歳以上の人を対象に実施します。

問い合わせ 健康推進課 山村 ☎0024

【座談】

キストを使用し、読み書き・計算を行うことで脳を鍛えます。手早くスラスラ解答したときに脳が活性化することから、学習ではなく「楽習」と呼んでいます。

【運動】

理学療法士の指導のもと、より効率的に自分の体を使うことを目的とした、軽い運動を行います。また、頭と体を同時に使う課題を、参加者全員で楽しみながら行い、脳を活性化させます。

教室で仲間と出会う

教室は5カ月で終了しますが、教室が終わっても、参加者同士で「卒業生の会」として活動しているグループが9つあります。教室で新しい仲間に出会い、楽しく脳を活性化させましょう！

教室サポーター募集！

楽習の採点（丸付け）、座談のサポートなど、脳トレ学習塾の参加者が自主的に楽しく参加できるよう、お手伝いしていただける教室サポーター（有償ボランティア）を募集します。子育て世代のサポーターも大歓迎です。託児もありますので、ぜひご参加ください。

期 間：10月1日～令和2年2月25日
(毎週火曜日)

時 間：午前9時45分～正午ごろ
*シフト制。月2回など調整可能。

対 象：▶64歳以下の人▶事前研修に参加できる人（予定日＝9月17日～午前中、24日～午前中）▶月2～4回程度、教室に協力していただける人

謝 礼：1回1,000円
(託児利用の場合は1回500円)

申込期限：9月3日

「いきいき脳トレ学習塾 榛原校」参加者募集！

期 間：10月1日～令和2年2月25日
(毎週火曜日・全19回)

時 間：午前9時30分～午前11時30分ごろ
場 所：総合健康福祉センター さざんか
対 象：65歳以上の市民で、会場まで自分で行くことができる人

定 員：24人(先着)
月 謝：2,400円

*教室学習、自宅用の教材費を含む。
申込期限：9月17日

申し込み

▶健康推進課(さざんか内) ☎0024